



おかげさまで

10周年



## 日興五大陸ファンドシリーズ

- 日興五大陸債券ファンド（毎月分配型）
- 日興五大陸株式ファンド

新興国を含めた海外の債券や株式に投資を行なうファンドとして、2006年6月に設定された日興五大陸ファンドシリーズ（日興五大陸債券ファンド（毎月分配型）/日興五大陸株式ファンド）は、本年6月に運用開始10周年を迎えることができました。

これまでのご支援に感謝すると共に、今後も中長期的な信託財産の成長をめざして運用を続ける所存です。この度、これまでの運用を振り返ると共に、当ファンドの魅力について、再度、ご案内する資料を作成しましたので、是非ご覧ください。

### 幾多の危機を乗り越え、近年の基準価額は概ね堅調に推移



※ 基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、分配金（税引前）を再投資したものととして算出した理論上のものである点にご留意ください。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様様に「日興五大陸債券ファンド（毎月分配型）」および「日興五大陸株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## 日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)

日本を除く先進国に新興国を加えて、合計36ヵ国※の債券（主に国債）を  
主な投資対象とします。

※2016年5月末現在

**特長1** 新興国を含めた海外の債券を対象に幅広く分散投資を行ないます。

**特長2** 基本投資比率は先進国に80%、新興国に20%とします。

- 先進国、新興国の指数に連動する成果をめざすインデックス運用を行ないます。
- 先進国: シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
- 新興国: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(ヘッジなし・円ベース)

**特長3** 毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

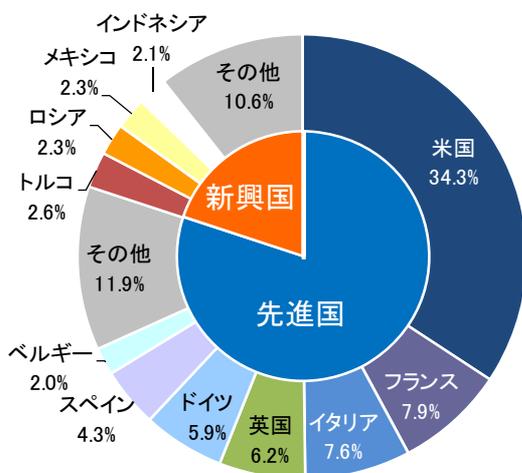
- 毎月16日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
- 投資する債券などの利息収益・値上がり益などを原資として、毎月安定的に分配することをめざします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

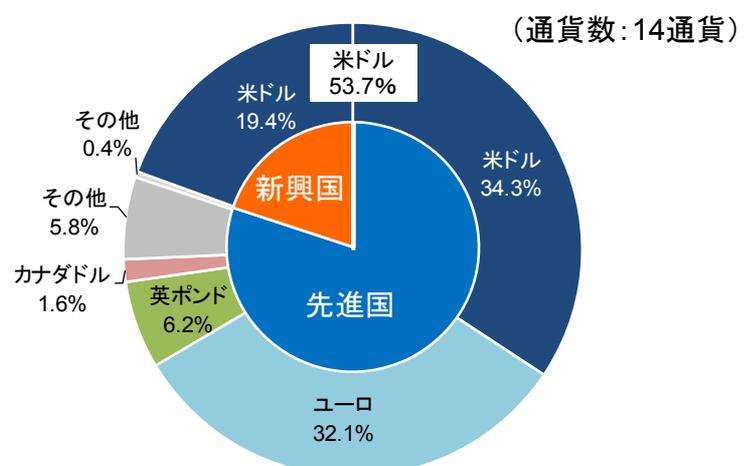
○市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## ポートフォリオの状況 (2016年7月末現在)

【国別構成比率】



【通貨別構成比率】



※先進国、新興国それぞれのマザーファンドの純資産総額比の値を、当ファンドへのマザーファンドの組入比率で合成したものです。

※各数値は四捨五入処理を行なっていますので合計が100%にならない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

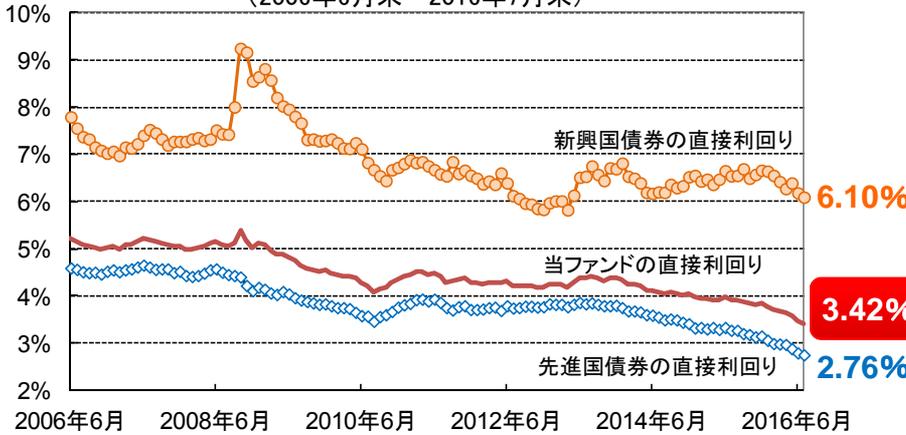


## 日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)

### ファンドの直接利回りは魅力的な水準で推移

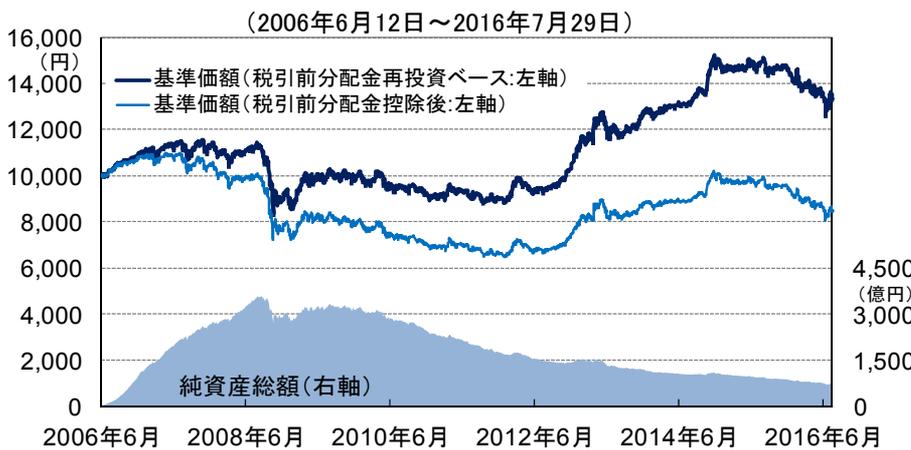
国内債券では得られない収益機会が海外債券の魅力です。  
相対的に高い新興国の利回りを享受しつつ、リスクの分散を図ります。

＜当ファンドの直接利回りの推移＞  
(2006年6月末～2016年7月末)



※当ファンドの直接利回りは、先進国、新興国それぞれのマザーファンドの各月末の直接利回りおよび組入比率をもとに算出した計算上の値です。  
※先進国債券、新興国債券の直接利回りはマザーファンドの利回りです。

### 基準価額と純資産総額の推移 (2016年7月末現在)



#### 基準価額

税引前分配金再投資ベース **13,335円**  
 税引前分配金控除後 **8,479円**  
 (設定来高値) **10,985円 (2007/7/13)**  
 (設定来安値) **6,480円 (2012/1/16)**

#### 純資産総額

**723億円**

#### 分配金実績 (税引前、1万口当たり)

設定来合計	直近12期合計	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月
3,940円	300円	25円	25円	25円	25円	25円

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。  
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)とは、分配金(税引前)を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」および「日興五大陸株式ファンド」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



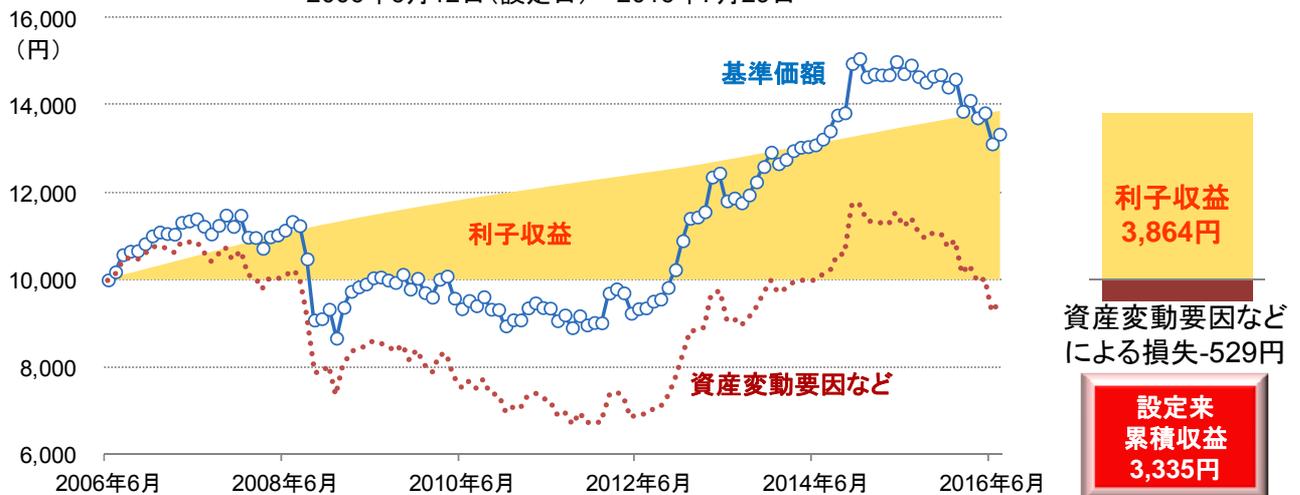
## 日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)

### 債券投資の大きな魅力の一つ「金利の力」

利子収益は、一度に大きい額の獲得は期待できないものの安定して積み上げることが可能な収益です。長期投資を行なうことにより、積み上がる利子収益の獲得が期待されます。

＜当ファンドの基準価額と収益内訳の推移＞

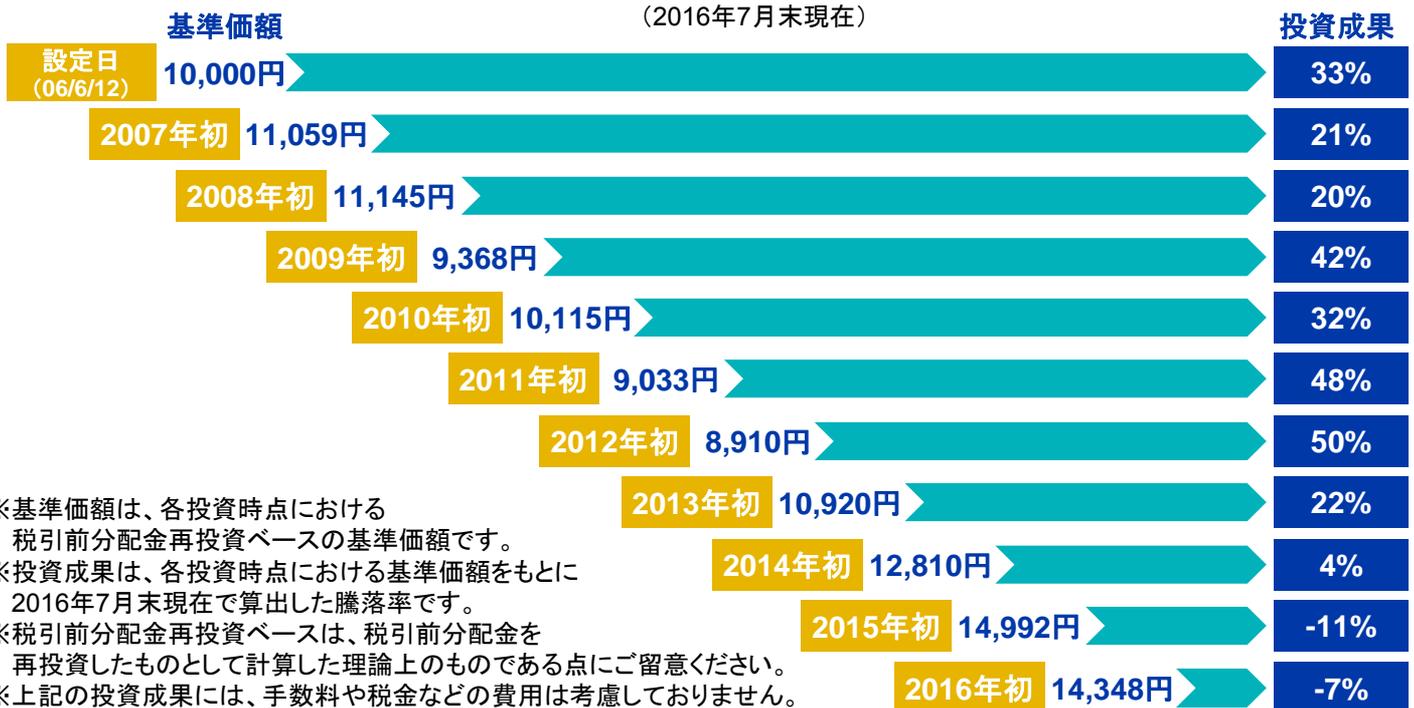
2006年6月12日(設定日)～2016年7月29日



■基準価額は信託報酬(後述の「手数料の概要」参照)控除後の基準価額(税引前分配金再投資ベース)です。税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。■資産変動要因などと利子収益は、基準価額騰落をもとに、「簡便法」で試算した概算値です。傾向を知るための目安としてご覧ください。■資産変動要因などは、利子収益以外の投資成果を指し、信託報酬の支払いを考慮しています。

＜投資開始時点別の投資成果＞

(2016年7月末現在)



※基準価額は、各投資時点における税引前分配金再投資ベースの基準価額です。  
 ※投資成果は、各投資時点における基準価額をもとに2016年7月末現在で算出した騰落率です。  
 ※税引前分配金再投資ベースは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※上記の投資成果には、手数料や税金などの費用は考慮していません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」および「日興五大陸株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## 日興五大陸株式ファンド

日本を除く先進国に新興国を加えて、合計45※の国・地域の株式を  
主な投資対象とします。

※2016年5月末現在

### 特長1

信託財産の高い成長を求め、新興国を含めた  
海外の株式を対象に幅広く分散投資を行ないます。

### 特長2

基本投資比率は先進国に80%、新興国に20%とします。

- 先進国、新興国の指数に連動する成果をめざすインデックス運用を行ないます。
- 先進国: MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)
- 新興国: MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円ヘッジなし・円ベース)

### 特長3

年4回の決算時に、実績に応じた収益分配を行なうことを  
めざします。

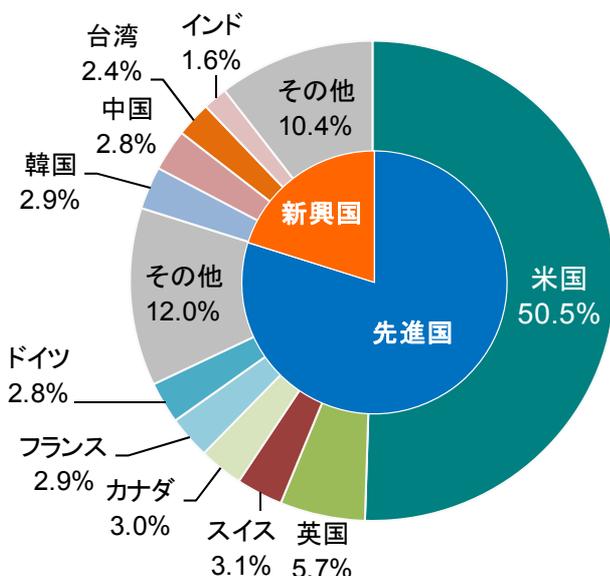
- 毎年2月、5月、8月、11月の各16日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
- 投資する株式の配当収益・売却益などを原資として、毎決算時に分配することをめざします。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行なわない場合もあります。

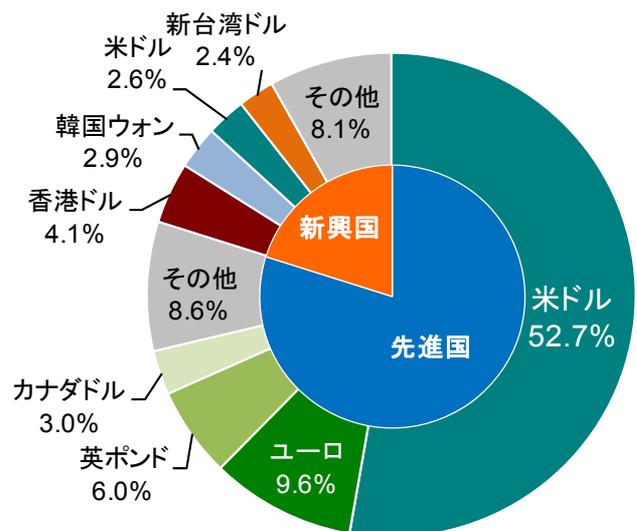
○市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## ポートフォリオの状況 (2016年7月末現在)

【国別構成比率】



【通貨別構成比率】



※先進国、新興国それぞれのマザーファンドの純資産総額比の値を、当ファンドへのマザーファンドの組入比率で合成したものです。

※各数値は四捨五入処理を行なっていますので合計が100%にならない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

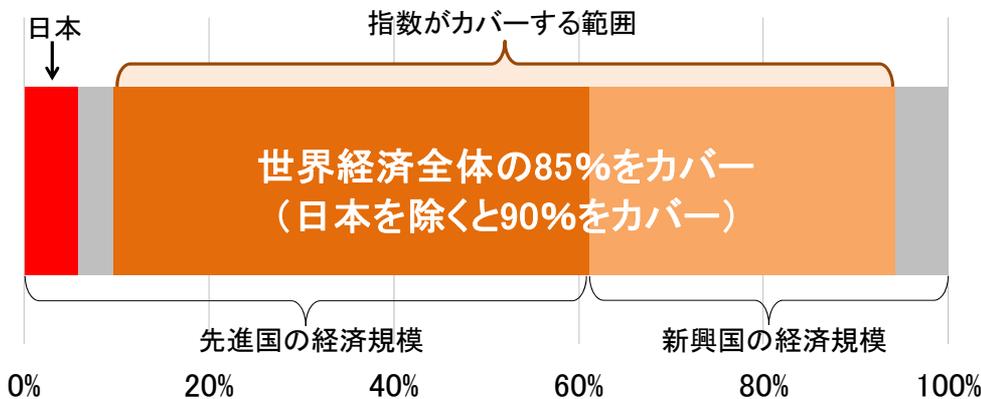


## 日興五大陸株式ファンド

### 投資信託の仕組みを使い、直接投資が難しい海外の株式に幅広く投資

海外企業の株式への投資には、資金面や制度面、情報面などにおいて、国内企業の株式への投資に比べ多くの制約があるのが現実です。そうしたなか、日興五大陸株式ファンドは先進国(日本を除く)および新興国を合わせて2,100以上の企業(2016年7月末現在)の株式に投資を行っており、当ファンドを利用することにより、海外企業の株式に幅広く分散投資を行なうことができると考えられます。

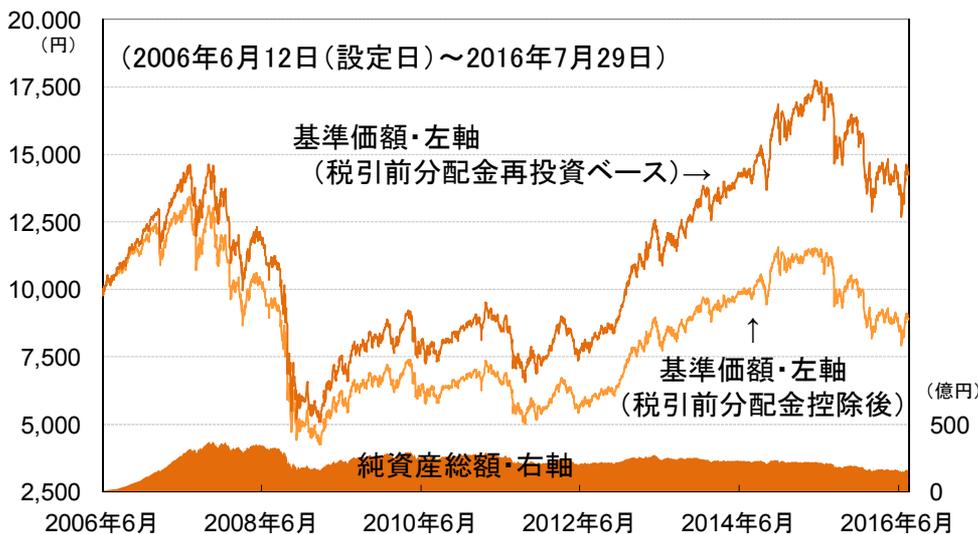
＜日興五大陸株式の投資対象国が世界のGDPに占める割合＞



※左記は、資料作成時点における、IMFの2016年予想の各国のGDP予想値を基に日興アセットマネジメントが作成しています。

※日興五大陸株式ファンドは日本株式には投資を行いません。

### 基準価額と純資産総額の推移 (2016年7月末現在)



#### 基準価額

税引前分配金再投資ベース 14,231円

税引前分配金控除後 8,890円

(設定来高値)

13,415円(2007/7/20)

(設定来安値)

4,245円(2009/3/10)

#### 純資産総額

156億円

#### 分配金実績 (税引前、1万口当たり)

設定来合計	2015年5月	2015年8月	2015年11月	2016年2月	2016年5月
4,290円	300円	180円	90円	60円	60円

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。  
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)とは、分配金(税引前)を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

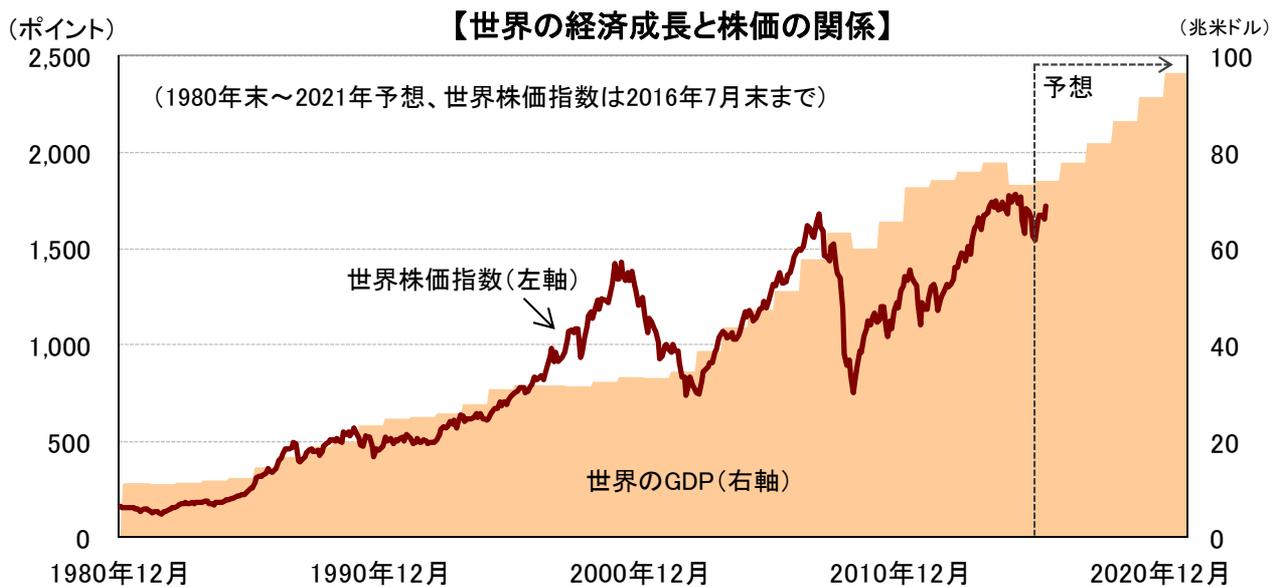
※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」および「日興五大陸株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

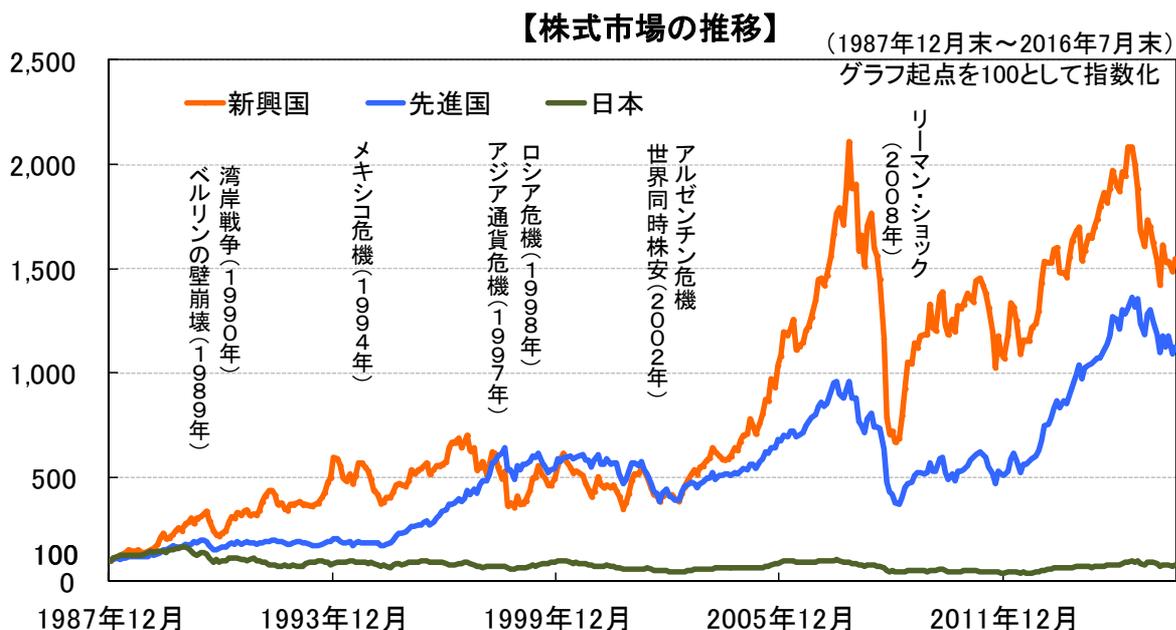
日興五大陸株式ファンド



世界の経済成長（GDPの成長）と株価の推移は、時に乖離することはあっても、長期的には似通った推移となっています。



※世界株価指数はMSCIワールド指数、世界のGDPはIMF「World Economic Outlook, April 2016」  
(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)



※先進国はMSCI-KOKUSAIインデックス(ヘッジなし)、新興国はMSCI エマージング・マーケット・インデックス(ヘッジなし)それぞれの米ドルベース指数を日興アセットマネジメントが円換算して作成。日本はTOPIX(東証株価指数)を使用。

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」および「日興五大陸株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 日興五大陸株式ファンド



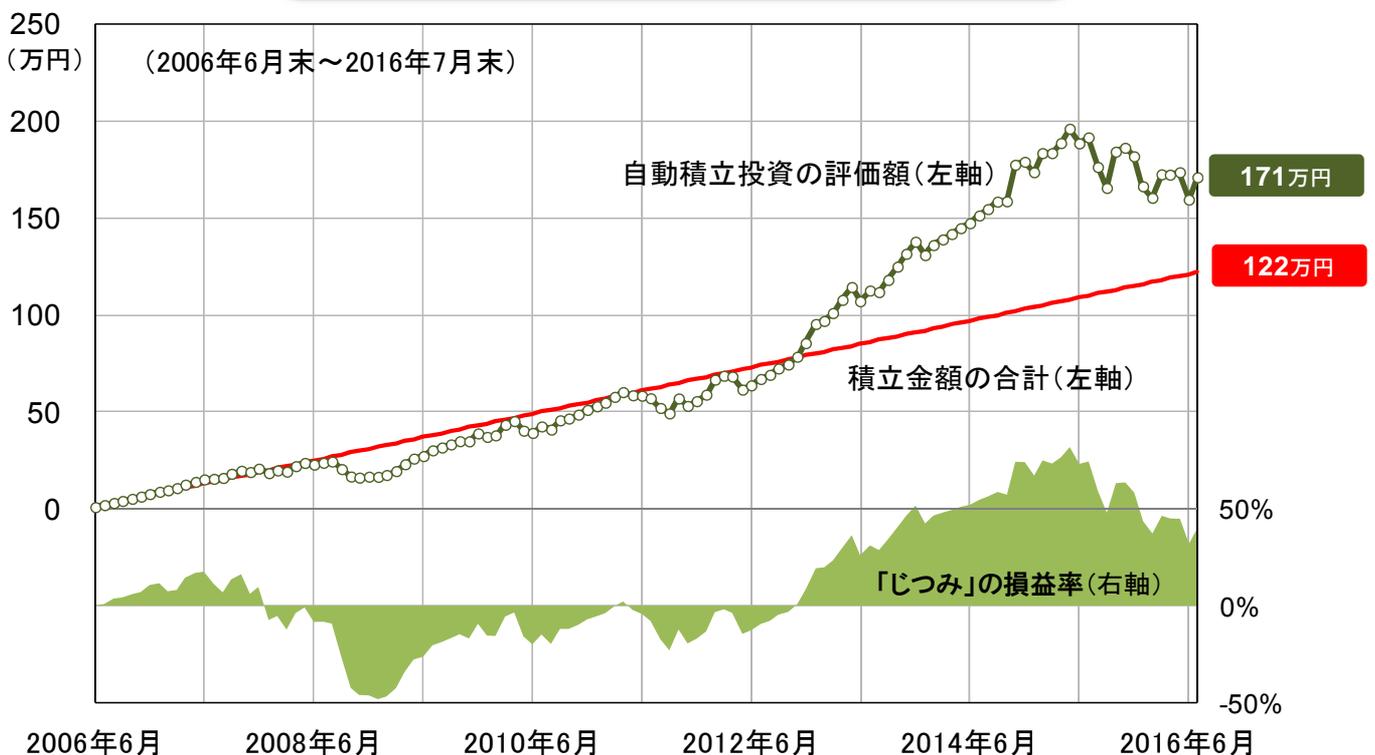
### 期待される時間分散による投資効果

資産運用を行なう際には、投資資金のすべてを一度に振り向けるほかにも、投資時期を分ける「時間分散」といった手法があります。

実際に、「日興五大陸株式ファンド」の自動積立の仕組み(じつみ)を例にとってみます。毎月10,000円を投資した場合のシミュレーションでは、投資資金(積立金額)と自動積立投資の評価額は、現時点では、評価額が積立金額を上回っており、時間分散に効果があったとすることができます。

毎月、一定額ずつ購入を行なう「じつみ」では、基準価額が低い局面で口数を多く購入し、基準価額が高い局面では口数を少なく購入することで、購入コストの平均値の引き下げが期待されます。こうした結果、基準価額が上下に振れながらも上昇する場合、時間分散による投資効果が期待できるとされています。

#### 時間分散による投資成果の一例「じつみ」



※ 自動積立投資の評価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の税引前分配金再投資ベースの基準価額(1万口当たり)の値を用いて計算しています。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

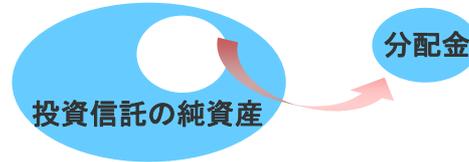
※ 上記では購入時手数料や税金などを考慮していませんので、あくまで参考情報としてご覧ください。

※ 上記は過去のシミュレーションの結果であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

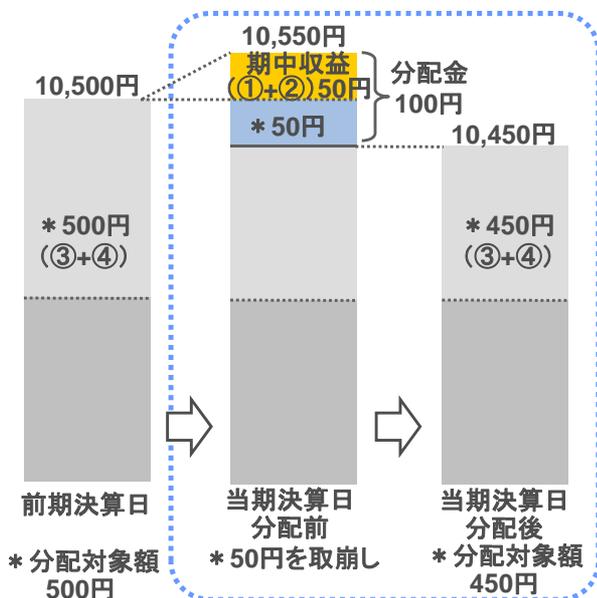
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



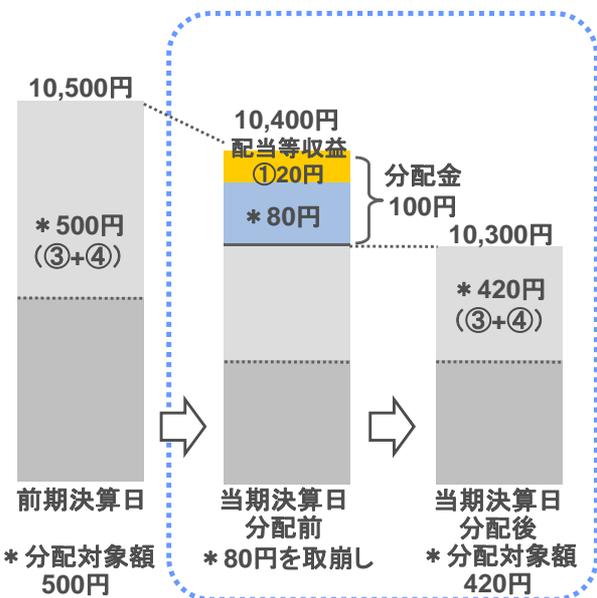
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算から基準価額が下落した場合

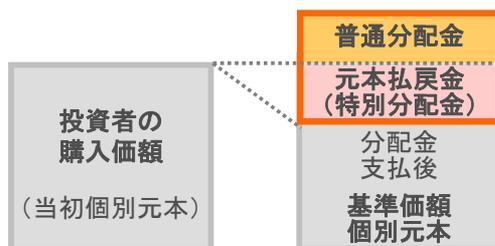


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

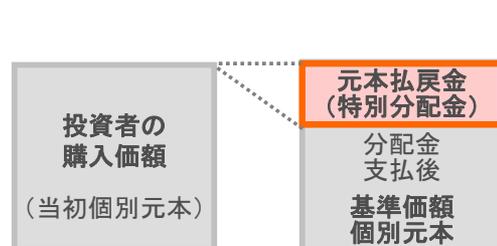
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金**：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

**元本払戻金(特別分配金)**：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## お申込みに際しての留意事項

### ■投資信託に関する留意事項

- 投資信託は預金・貯金ではありません。
- 日本郵便株式会社は、株式会社ゆうちょ銀行から委託を受けて、投資信託の申し込みの媒介(金融商品仲介行為)を行います。日本郵便株式会社は金融商品仲介行為に関して、株式会社ゆうちょ銀行の代理権を有していないとともに、お客さまから金銭もしくは有価証券をお預かりしません。
- 当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)はゆうちょ銀行各店または投資信託取扱郵便局の投資信託窓口にて用意しております。ただし、インターネットのみでお取り扱いをするファンドの投資信託説明書(交付目論見書)は投資信託窓口にはご用意しておりません。ゆうちょ銀行Webサイトからダウンロードいただくか、投資信託コールセンターにお電話で、ご請求ください。

### ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券や株式を実質的な投資対象としますので、債券や株式の価格の下落や、債券や株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

- ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### 【その他の留意事項】

- 当資料は、投資者の皆様は「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」および「日興五大陸株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込メモ

- 商品分類 : (債券)追加型投信/海外/債券/インデックス型  
:(株式)追加型投信/海外/株式/インデックス型
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 無期限(2006年6月12日設定)
- 決算日 : (債券)毎月16日(休業日の場合は翌営業日)  
:(株式)年4回。毎年2月、5月、8月、11月の各16日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が、ニューヨーク証券取引所の休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金の支払い: 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

- 購入時手数料 : 購入時手数料率は2.16%(税抜2.0%)を上限として販売会社が定める率とします。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : (債券)換金時の基準価額に0.2%の率を乗じて得た額(1口当たり)  
:(株式)換金時の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額(1口当たり)

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

- 信託報酬 : (債券)純資産総額に対して年率1.08%(税抜1.0%)を乗じて得た額  
:(株式)純資産総額に対して年率1.188%(税抜1.1%)を乗じて得た額

- その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。  
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。  
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- (債券)とは「日興五大陸債券ファンド(毎月分配型)」、(株式)とは「日興五大陸株式ファンド」の内容を示します。記載のない項目は両ファンド共通の内容です。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	株式会社ゆうちょ銀行 登録金融機関 関東財務局長(登金)第611号 加入協会:日本証券業協会 【金融商品仲介業者】日本郵便株式会社 関東財務局長(金仲)第325号